

資料編

- ・ 資料 1 - 1 事業所向け調査 アンケート調査票
- ・ 資料 1 - 2 がん患者向け調査 アンケート調査票
- ・ 資料 1 - 3 家族向け調査 アンケート調査票
- ・ 資料 2 - 1 事業所向け調査（単純集計）
- ・ 資料 2 - 2 がん患者向け調査（単純集計）
- ・ 資料 2 - 3 家族向け調査（単純集計）
- ・ 資料 3 インタビュー調査結果概要（対象ごとの記録）

がん患者の就労等に関する実態調査

- 本調査は、東京都が、がんに関与した従業員の就労等の実態について、雇用主側から実態把握を行うことを目的として実施するものです。調査の一部のみをみずほ情報総研株式会社に委託して実施致します。
- ▶ (調査について) 東京都福祉保健局ホームページ：
http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/iryo/iryo_hoken/gantaisaku/jigyousyo
- 本調査は、**法人を単位**として行っております。本社事業所だけでなく、支店・出張所・営業所等の都内外の全事業所を含めた法人全体についてご回答ください。また、回答のご記入は、**貴法人の人事・労務ご担当者様**にお願い申し上げます。
- 本調査における従業員とは、**正規雇用の従業員（雇用期間の定めがないフルタイムの従業員）だけでなく、非正規雇用の従業員（雇用期間の定めのある従業員[契約社員、嘱託社員、パートタイマー等]）も含まれます。但し、派遣労働者や請負労働者は含みません。**
- 特に指定のない限り、**平成25年10月1日時点の状況**についてご回答ください。
- ご回答いただいた内容は取扱に十分注意し、統計的に処理するとともに、調査の目的以外での利用は致しません。また、**法人が特定される形で公表されることはございません。**
- **回答期限（ポスト投函）を平成25年10月31日（木）**としております。ご多忙の折恐縮ですが、ご協力の程どうぞ宜しくお願い申し上げます。

【調査内容に関するお問い合わせ先】 がん患者の就労等に関する実態調査事務局

みずほ情報総研株式会社 社会政策コンサルティング部 志岐・西尾・田中・清水

TEL:03-5281-5277(平日:10時~17時) FAX:03-5281-5443(終日) E-mail:tokyo_ryoritsu@mizuho-ir.co.jp

ご記入者様	お名前		部署・役職	
	電話番号		FAX番号	
	法人名			
	住所	〒		

1. 貴法人の概要についてお伺いします。

問1 貴法人の主たる事業の業種として該当するものを 1つ お選びください。(単一回答)

- | | | |
|----------------|------------------|----------------------|
| 01 建設業 | 02 製造業 | 03 電気・ガス・熱供給・水道業 |
| 04 情報通信業 | 05 運輸業、郵便業 | 06 卸売業、小売業 |
| 07 金融業、保険業 | 08 不動産業、物品賃貸業 | 09 学術研究、専門・技術サービス業 |
| 10 宿泊業、飲食サービス業 | 11 生活関連サービス業、娯楽業 | 12 教育、学習支援業 |
| 13 医療、福祉 | 14 複合サービス事業 | 15 サービス業(他に分類されないもの) |
| 16 公務 | 17 その他() | |

問2 貴法人の従業員数についてご記入下さい。

全常用労働者数 ^{※1}	人	(うち) 正規雇用従業員数 ^{※2}	人
		(うち) 非正規雇用従業員数 ^{※3}	人

※1 常用労働者数：(1)期間を定めずに、又は1か月を超える期間を定めて雇われている者、(2)臨時又は日雇い労働者で、調査日前の2か月の各月にそれぞれ18日以上雇われた者、のいずれかに該当する者。但し、派遣労働者や請負労働者は含まない。

※2 正規雇用従業員：雇用期間の定めがないフルタイムの従業員。

※3 非正規雇用従業員：雇用期間の定めのある従業員(契約社員、嘱託社員、パートタイマー等)。但し、派遣労働者や請負労働者は除く。

問3 貴法人の従業員に対してがん検診を実施していますか。(単一回答)

01 事業主として法人単独で実施

02 協会けんぽ、健保組合、共済組合等と共同実施

03 実施していない

《問3で「01・02」を選ばれた場合のみ》

問3-1 がん検診によりがんと疑われた従業員はいましたか。平成22～24年度の状況をお答えください。(単一回答)

01 いた

02 いない

03 分からない

《問3で「03 実施していない」を選ばれた場合のみ》

問3-2 従業員のがん検診受診のため、実施している取組があれば○をつけてください。(複数回答)

01 検診費用の補助 ⇒ 該当するものに○: 11 法人が一部または全額負担

12 保険者(協会けんぽ等)が一部または全額負担

02 勤務時間内の受診の許可

03 自治体で実施しているがん検診の案内・周知

04 がん検診の受診状況の確認

05 その他()

06 特に何も実施していない

2. 貴法人の制度についてお伺いします。

■多様で柔軟な働き方を支援するための制度等について

問4 貴法人では、柔軟な働き方を支援するための制度として、導入しているものはありますか。①～⑪の制度について、

(1) 導入している制度の欄に○をご記入ください。

(2) 導入している制度で、私傷病の治療や療養等を目的として利用可能な場合には、当該制度の欄に○をご記入ください。

なお、(1)・(2)のそれぞれについて、一部または全部の非正規雇用の従業員も利用可能かどうかについてもお答えください。(それぞれ複数回答)

勤務形態・休暇制度等	(1) 制度の有無		(2) 制度がある場合、私傷病時の利用可否	
	制度があるものに○	うち、非正規雇用の従業員も利用可能なものに○	私傷病時に利用可能なものに○	うち、非正規雇用の従業員も利用可能なものに○
① 時差出勤制度※ ¹				
② 1日の所定労働時間を短縮する制度				
③ 週または月の所定労働時間を短縮する制度				
④ 半日単位の休暇制度				
⑤ 時間単位の休暇制度				
⑥ 失効年次有給休暇の積立制度				
⑦ フレックスタイム制度※ ²				
⑧ 退職者の再雇用制度				
⑨ 上記以外の治療目的の休暇・休業制度				
⑩ 在宅勤務制度				
⑪ 裁量労働制度※ ³				
⑫ その他()				

※1 時差出勤：所定労働時間は変えず、始業・終業時刻を繰り上げ・繰り下げる制度。

※2 フレックスタイム制度：労働者が各自の始業・終業時刻を自由に決められる制度。

※3 裁量労働制度：労働時間の計算を実労働時間ではなくみなし時間によって行うことを認める制度。

■産業保健スタッフとの連携状況について

問 5 貴法人には、産業医・産業保健師・産業看護師などの産業保健スタッフはいますか。
 産業保健スタッフがいる場合には、選択肢 01 から 05 のうち、該当する選択肢に○をつけてください。(複数回答)
 産業保健スタッフがいらない場合には、外部の産業保健スタッフと連携しているかどうかについて、選択肢 06 から 08 のうち、該当する選択肢に○をつけてください。(複数回答)

産業保健スタッフがいる場合	01 専属の産業医がいる	02 嘱託の産業医がいる	}
	03 産業保健師がいる	04 産業看護師がいる	
	05 その他 ()		
産業保健スタッフがいらない場合	06 地域産業保健センターの産業保健スタッフと連携している		}
	07 健康保険組合、グループ企業等の産業保健スタッフと連携している		
	08 その他 ()		
	09 連携している産業保健スタッフはいない		→ 問5-3へ

《問 5 で「01～07」を選ばれた場合のみ》 ←

問 5-1 産業保健スタッフは、私傷病の従業員に対してどのようなサポートを行っていますか。(複数回答)

- | | |
|--------------------------------------|-----------------------------|
| 01 休職や復職にあたっての面談 | 04 医療機関（主治医やその他職員）との連絡・情報交換 |
| 02 就業上の制限や職場環境の整備に対する人事部門や従業員の上司への助言 | 06 その他 () |
| 03 定期的な面談などによるフォロー | |
| 05 従業員からの相談受付 | |
| 07 特にサポートは行っていない | |

《問 5-1 で「01～06」を選ばれた場合のみ》

問 5-2 産業保健スタッフによる私傷病の従業員へのサポートにおいて、課題となっていることや困難であることはありますか。(複数回答)

- | |
|-----------------------------------------------------|
| 01 復職の面談や各種相談受付のための時間が十分に確保できない |
| 02 特定の領域の疾患を専門としており、病気によっては十分なサポートが得られない |
| 03 産業保健スタッフと企業側（人事労務担当者やライン管理職等）がどのように連携すればよいか分からない |
| 04 その他 () |
| 05 特になし |

《問 5 で「09 連携している産業保健スタッフはいない」を選ばれた場合のみ》 ←

問 5-3 産業保健スタッフを必要だと感じたことはありましたか。(単一回答)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 01 必要だと感じたことがある | 02 必要だと感じたことはない |
|-----------------|-----------------|

■私傷病の従業員の雇用管理・身分保障期間・所得補償期間について

問 6 貴法人では、従業員が私傷病になった際の休暇・休職や勤務形態等について、就業規則で規定していますか。(単一回答)

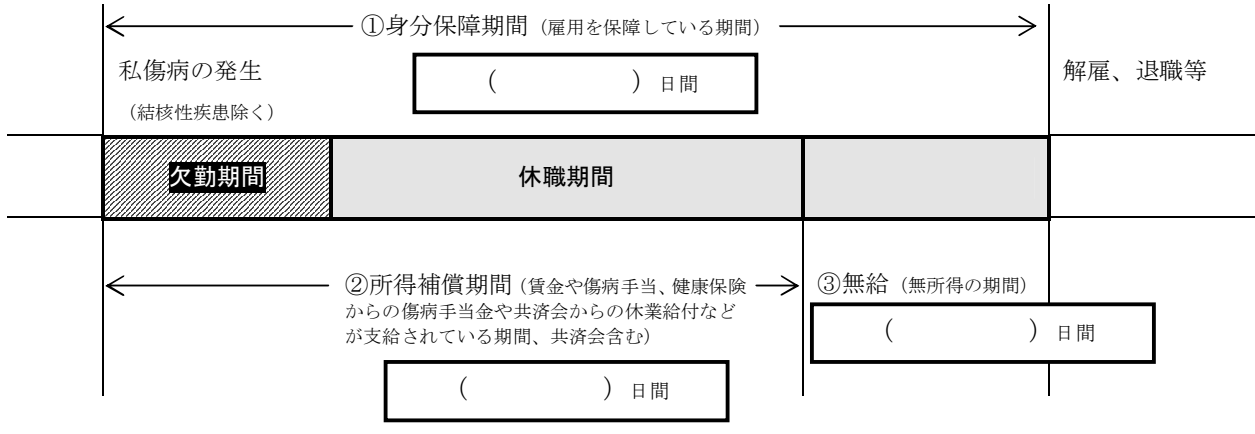
- | | |
|------------|--------------------|
| 01 規定している | 02 特に規定していない（個別対応） |
| 03 その他 () | |

問 7 貴法人における私傷病による長期休職者の復職に関する方針についてお答えください。(単一回答)

- | | |
|--------------------------|------------------|
| 01 試し（慣らし）出勤制度等で徐々に復帰させる | 02 完全に治ってから復帰させる |
| 03 個別対応としている | 04 その他 () |
| 05 特に方針はない | |

問 8 貴法人における身分保障期間・所得補償期間（取得可能な最長日数）についてご記入ください。

※勤続年数に応じて異なる場合には、勤続年数が最も長い区分についてご回答下さい。



問 9 貴法人では、問 6 から問 8 までの内容（就業規則上の規定，復職に関する方針，身分保障・所得補償期間）について、従業員にどのように周知していますか。（複数回答）

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 01 書面・冊子を配布している | 02 社内イントラネット上に掲載にしている |
| 03 書面・冊子を事業場内に備え付けている | 04 研修・連絡会議の場で情報提供している |
| 05 その他 () | |

3. 従業員が私傷病になった際の対応についてお伺いします。

問 10 過去 3 年間（2010 年 1 月～）を振り返って、**私傷病**（結核性疾患除く）で 1 か月以上連続して休んだ従業員、または私傷病のために就業制限（残業不可等）が必要であった従業員はいましたか。（単一回答）

- | | | |
|-------|----------|----------|
| 01 いた | 02 いなかった | 03 分からない |
|-------|----------|----------|

「問 10 で「01 いた」を選ばれた場合のみ」

問 10-1 従業員が私傷病になった際、当該従業員の適正配置や雇用管理等について、対応に苦慮したことはありましたか。過去の様子を振り返って、該当するもの全てに○をつけてください。（複数回答）

- | | |
|------------------------------------------------|--------------------|
| 01 病気や治療に関する見通しが分からない | 02 復職可否の判断が難しい |
| 03 就業制限の必要性や期間の判断が難しい | 04 復職後の適正配置の判断が難しい |
| 05 症状の悪化や再発予防の対策が分からない | 06 代替要員の確保が難しい |
| 07 症状や治療に配慮した部署異動や業務内容の調整が困難 | |
| 08 症状や治療に配慮した業務分担や処遇等について、他の従業員の理解・協力を得ることが難しい | |
| 09 プライバシーの問題であるため、病気や治療の見通し等の情報を本人に聞きづらい | |
| 10 長期休業・休職期間中の社会保険料の事業主負担分の支払の負担が大きい | |
| 11 従業員の処遇や復職可否の判断・適正配置等についての相談先が分からない | |
| 12 その他 () | |
| 13 特に問題なし | |

「問 10-1 で「01～12」を選ばれた場合のみ」

問 10-2 対応に苦慮したことについて、誰かに相談をしましたか。（単一回答）

- | | | |
|---------|----------------------|--------------------|
| 01 相談した | 02 相談の必要性がなく、相談しなかった | 03 相談先が分からず相談しなかった |
|---------|----------------------|--------------------|

次ページ 問 10-3 へ

4. がんに関する基本的な情報や、がん患者の就労に関する実態についてお伺いします。

問 13 あなた（ご記入者様）はがんの治療やがんに関与した労働者の実態について、以下のことをご存じでしたか。知っていたものの欄に○をつけてください。（複数回答）

	知っていたものに○
(1) 生涯のうちに国民の2人に1人が、がんに関与し、3人に1人ががんにより死亡するなど、非常に身近な疾患となっている。	
(2) 一般的に、加齢とともにがん罹患のリスクは高くなるが、乳がんや子宮がんなど、働き盛りの女性に多いがんもある。	
(3) がん患者の5年生存率（5年後に生存している割合）は全体で約60%であるが、乳がんや精巣がん、前立腺がん、甲状腺がんなどは約90%に達しており、がんを抱えながら生活・就労する人が多い。	
(4) ある調査では、「働くがん患者の約30%が職場にがんであることを報告していない」という調査結果があるなど、職場にがんに関与したことを報告せずに治療をする患者もいる。	
(5) がんの治療方法は「手術」「薬物療法（抗がん剤治療等）」「放射線治療」などがある。	
(6) がんに関与した場合、入院して治療する場合もあるが、その後外来に通院しながら薬物療法（抗がん剤治療等）や放射線治療を行ったり、あるいは外来通院のみで治療を行う場合もある。	
(7) 一部のがんでは、身体障害者手帳の交付対象となるものがある。 （例：直腸がんによる人工肛門の造設等）	
(8) 専門的ながん医療を提供する病院は、「がん診療連携拠点病院」等として認定されており（東京都では計35病院）、各病院にはがん患者・家族等からのがん罹患に伴う様々な相談を受け付ける「相談支援センター」が設置されている。	
(9) 国の今後のがん対策の方向性を定めた「がん対策推進基本計画」（平成24年6月閣議決定）の中で、「がん患者の就労を含めた社会的な問題」に対して取り組むべき施策が示されている。（内容は欄外の点線枠内参照）	

「がん患者の就労を含めた社会的な問題」（取り組むべき施策）

がん以外の患者へも配慮しつつ、がん患者・経験者の就労に関するニーズや課題を明らかにした上で、職場でのがんの正しい知識の普及、事業者・がん患者やその家族・経験者に対する情報提供・相談支援体制のあり方等を検討し、検討結果に基づいた取組を実施する。

（中略）

医療機関は、医療従事者にとって過度な業務負担とならないよう健康確保を図った上で、患者が働きながら治療を受けられるように配慮するよう努めることが望ましい。

事業者は、がん患者が働きながら治療や療養できる環境の整備、さらに家族ががんになった場合でも働き続けられるような配慮に努めることが望ましい。また、職場や採用選考時にがん患者・経験者が差別を受けることのないよう十分に留意する必要がある。

5. 従業員の仕事と治療の両立の実現に向けた課題や今後の方針についてお伺いします。

問 14 貴法人では今後、病気になった後も安心して働きつづけられるよう、仕事と治療の両立が実現できる職場づくりが必要になるとお考えですか。（単一回答）

- | | |
|------------------|---------------------|
| 01 必要性を強く感じている | 02 どちらかという必要性を感じている |
| 03 あまり必要性は感じていない | 04 必要性は全く感じていない |

問 15 貴法人の経営・労務管理上、対策が必要だと考えている疾病は何ですか。(複数回答)

- | | | | | | |
|----|---------|----|---------|----|------------|
| 01 | メンタルヘルス | 02 | がん | 03 | B型肝炎・C型肝炎 |
| 04 | 脳血管疾患 | 05 | 心疾患 | 06 | 糖尿病 |
| 07 | 難病 | 08 | その他 () | 09 | 特になし・分からない |

問 16 貴法人において、従業員の仕事と治療の両立が実現可能な職場づくりを進める上での課題は何ですか。(複数回答)

- | | | | | | |
|----|----------------------------|----|--------------------------|----|---------------|
| 01 | 休業中の賃金支給等の金銭的な補償が困難 | 03 | 産業保健スタッフの雇用にかかるコスト負担が大きい | | |
| 02 | 長期間働けない従業員の社会保険料の事業主負担が大きい | 04 | 代替要員の確保が困難 | 05 | 柔軟な勤務制度の整備が困難 |
| 06 | 管理職や従業員の理解が得られにくい | 07 | 具体的な支援の方法が分からない | | |
| 08 | 病気そのものや治療の内容、仕事への影響が分からない | 09 | 治療の見通しや就業制限に関する情報の入手が困難 | | |
| 10 | その他 () | | | | |
| 11 | 特になし | | | | |

問 17 今後、より多くの法人において、がんに罹患した従業員の仕事と治療の両立が図られることを目的として行政(東京都)が普及啓発事業を進める場合、法人として特に知りたい内容や、普及啓発・情報提供・相談支援の方法として希望するものに○をつけてください。(複数回答)

(1) 普及啓発・情報提供・相談支援の内容

- | | | | |
|----|---------------------|----|---------------------|
| 01 | がんそのものや治療方法等の基本的な情報 | 02 | 主に必要となる就業上の配慮 |
| 03 | 他社での取組事例 | 04 | 産業医等の産業保健スタッフとの連携方法 |
| 05 | 従業員の受診医療機関との連携方法 | 06 | 法人が相談できる相談窓口 |
| 07 | 労働者が相談できる相談窓口 | 08 | 国や東京都における施策動向 |
| 09 | 社内での普及啓発資材 | 10 | その他 () |

(2) 普及啓発・情報提供の形態

- | | | | | | |
|----|----------|----|---------|----|--------------|
| 01 | セミナー・講演会 | 02 | リーフレット | 03 | ホームページでの情報提供 |
| 04 | メールマガジン | 05 | その他 () | | |

問 18 問 17 の他に、行政(東京都)に対して希望する施策・支援等があればご自由にご記入ください。

(例) 事業所が相談できる窓口の整備・拡充等

問 19 その他、がんに罹患した従業員の仕事と治療の両立について、ご意見や普段お考えのこと、法人内での問題意識等があればご自由にご記入ください。

p.8 に問 20 (最終設問) がございます。ご回答の程、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

6. グループ・インタビューへのご協力の御願い

問 20 グループ・インタビュー、セミナーへの参加を希望されますか。(それぞれ単一回答)

グループ・インタビュー	01 参加を希望する	02 参加を希望しない
セミナー	01 参加を希望する	02 参加を希望しない

※グループ・インタビュー又はセミナーについて、「01 参加を希望する」を選択いただいた法人様へは、後日、本調査票 1 ページ目に記載いただいたご記入者様へ、詳細のご連絡を申し上げます。

■グループ・インタビューにご協力いただける法人様を募集しております。

本調査の一環として、以下の要件でグループ・インタビューを実施致します。東京都としては、より多くの事業所の実態や御意見を把握したいと考えております。御多忙中のところ大変恐れ入りますが、グループ・インタビューにつきましても、積極的な御協力をいただきますようお願い申し上げます。

<グループ・インタビューの目的>

◎本アンケートの集計結果を踏まえつつ、従業員ががんに罹患した際の、事業所での具体的な対応方法とその際の課題について、より具体的に把握するために実施致します。グループ・インタビューの結果は、東京都としてどのような支援が可能であるのかを検討するために活用致します。

<グループ・インタビューの実施要項>

- ◎実施日時：2013年12月18日(水)15時10分～16時10分(1時間)
- ◎実施場所：みずほ情報総研株式会社名古屋ビル新館2階会議室(東京都千代田区神田錦町2-5-16)
- ◎ご出席いただきたい方：経営者様、もしくは人事・労務御担当者様(各社1名様)
- ◎交通費：交通費としてお一人様2,000円、お支払させていただきます。
- ◎その他：他の参加者に法人名等が分からないよう、配慮して実施致します。また、お伺いした内容は厳重に取り扱い、結果とりまとめの際には法人が特定されないように致します。

<主なテーマ> (やむを得ずテーマの変更が生じる可能性がございますが、予めご了承下さい。変更の際は事前にご連絡申し上げます。)

- テーマ1：がんで長期休職する従業員が発生した場合の情報の入手方法とその対応方法
- テーマ2：復職希望者が出た際の法人としての対応方法、復職後の支援のあり方
- テーマ3：行政等に求める支援策

◆◆◆ 同日開催：ワーク・ライフ・バランスセミナー

「働きやすい職場づくり～仕事と治療の両立に向けて～」 ◆◆◆

- グループ・インタビューを実施する12月18日(水)の13時30分～15時、仕事と治療の両立を実現できる職場づくりをテーマとしたセミナーを開催致します。セミナーへのご参加も是非ご検討ください。
- 今後、患者の増加が見込まれる「がん」に焦点を当て、「治療医」「企業の人事・労務担当者」「産業医」の各立場から、最新の知見と具体的な事例を通じた職場づくりや労働者に対する支援のポイントをご紹介します。
- がんに罹患した方が安心して働きつづけられる職場づくりは、国においても重点課題として取り上げられている、非常に重要なトピックです。
- 参加は無料でございます。詳細は同封のチラシをご覧ください。

設問は以上です。お忙しいところご協力いただき、誠に有難うございました。
同封の返信用封筒にて、**10月31日(木)**までにポストに投函して下さい。

がん患者の就労等に関する実態調査

I. あなたご自身のことについてお伺いします。

問1	性別（いずれか1つに○）	01 男性	02 女性
問2	現在およびがんと診断された時点（以下、がん罹患時）での年齢についてご記入下さい。		
	(1) 現在の年齢	歳	(2) がん罹患時の年齢
			歳
問3	がん罹患時における家族構成についてご記入下さい。（いずれか1つに○）		
	01 扶養家族あり	02 扶養家族なし（単身世帯でない）	03 扶養家族なし（単身世帯）
問4	がん罹患時に加入していた健康保険についてご記入下さい。（いずれか1つに○）		
	01 健康保険組合	02 協会けんぽ	03 国民健康保険
	04 共済組合	05 後期高齢者医療制度	06 加入していなかった
問5	がん罹患時における居住地についてご記入下さい。（いずれか1つに○）		
	01 東京都内	02 東京都以外	

II. あなたの病気の状況についてお伺いします。

問6	診断されたがんの種別についてご記入下さい。（該当するもの全てに○）					
	01 胃がん	02 大腸がん	03 肺がん	04 乳がん		
	05 肝がん	06 悪性リンパ腫	07 子宮がん	08 食道がん		
	09 前立腺がん	10 甲状腺がん	11 白血病	12 その他（ ）		
問7	診断されたがんの進行度についてご記入下さい。（いずれか1つに○）					
	01 0期	02 I期	03 II期	04 III期	05 IV期	06 不明
問8	診断されたがんについて、これまでに受けた治療の種別をご記入下さい。（該当するもの全てに○）					
	01 手術	02 化学療法（抗がん剤）	03 放射線治療	04 ホルモン療法		
	05 対症療法	06 その他（ ）				
問9	がんの再発・転移はありましたか。（いずれか1つに○）					
	01 あった		02 なかった			
問10	がん罹患後における治療の状況についてご記入下さい。（該当するもの全てに○）					
	01 入院治療した	02 通院治療した	03 経過観察した			

※問10で「02」、「03」のいずれかもしくは両方を選ばれた場合のみ

問10-1	通院頻度についてご記入下さい。	
	※通院頻度については最も通院頻度の高かった1ヵ月間についてご記入下さい。	
	通院頻度（最も頻度の高かった1ヵ月間分）	回/月
問10-2	上記、最も通院頻度の高かった1ヵ月間について、1回あたりの通院時間*は平均でどの程度かかりましたか。（いずれか1つに○）	
	※通院時間とは、自宅から医療機関までの往復時間と医療機関における滞在時間（待ち時間、診療時間、会計等を全て含めた時間）を合計した時間	
	01 30分未満	02 30分以上1時間未満
	03 1時間以上2時間未満	04 2時間以上3時間未満
	05 3時間以上4時間未満	06 4時間以上5時間未満
	07 5時間以上6時間未満	08 6時間以上7時間未満
	09 7時間以上	